

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます

SSKP

いずみ

No.
161

2011年6月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部
泉の家〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎

〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/岡本福祉
作業ホーム〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/岡本ホーム
玉堤分場〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamalutumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatutumi/グループホーム
いずみ〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎☎042(550)9083
bwz12948@nifty.com

三重奏の素晴らしいハーモニーが会場を包みました。

2011年度 いずみ会報聖句
 あなたの体のもし火は目である。目が澄んでいけば、あなたの全身が明るいが、濁っていれば、体も暗い。
 だから、あなたの中にある光が消えていらないか調べなさい。
 あなたの全身が明るく、少しも暗いところがなければ、ちょうど、もし火がその輝きであなたを照らすときのように、全身は輝いている。
 (ルカによる福音書11章34〜36節)



理事長 橋向敏治

新しい施設には
新しい福祉サービスを

清々しい日本晴れのもと2011年4月5日『日の出舎』起工式が、秋葉正二祐教会牧師(泉会理事)の司式により厳粛の内にも和やかに行われました。今より丁度40年前の1971年5月に初代日の出舎の施設が建てられましたが、当時は人里離れ、道路も舗装されておらず車椅子の坂道歩行には難渋したそうです。現在は住宅が多くなりぎやかになりました。浅野順一初代理事長により設立された社会福祉法人泉会の歩みに『泉の家』に引き続き新しい一頁が刻まれました。利用者並びに職員が夢にまで見た希望が実現でき、正に人智を超えた奇跡であります。利用者は一部屋4名の共同生活から、来年1月には個室生活となります。利用者の生活を維持しながら施設の建設工事を平行して行い、移転を済ませてから入所施設を取り壊して就労施設の建設となります。無事故無災害・防音・環境に優しい工事が進められ、利用者の喜びに溢れる竣工式が待ち焦がれます。新しい施設が出来れば同時に多くの要望が利用者より出されるでしょう。新しい施設には新しい福祉サービスの内容を検討し、利用者の自立支援に向けた福祉内容の再構築を重ねたいものです。今後とも皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

泉の家 事業計画

「施設から地域へ」

全体の定員51名、現員31名で新年度を迎えました。今年度末の利用者現員目標は41名です。

支援面では、より活動的な計画をします。また、地域と一体感を持った事業を作り上げていくために、通所ルートにある交差点で、職員による交通安全の見守りをします。地域の方々に安心と信頼を築くことになり、障がいのある方々

を地域で見守り支え合えることに結び付くようにします。

事業所目標

施設から地域へ活動を広め、その発信を行います。

重点目標

- ①サービスの質の向上
 - ②財務基盤の安定化
 - ③人財育成制度・人事制度
- 総務面では、収支バランスのとれた事業所を目指します。また、今年度より独立行政法人福祉医療機構からの借入金返済400万円（年額）を開始します。

日の出舎・就労日の出舎

「安全」

昨年度の事業計画は「移行と建替えの実現」でした。皆様のご支援により、移行は2011年1月に、建替えは東京都から内示をいただき、2011年2月に着工となりました。2012年1月の竣工に向けて工事が進んでいます。ありがとうございました。今年度は、新しい制度で、そして、新しい建物で行う初年度となります。特に、同一敷地内で建替え工事をしながらの事業となりますので、事

故の無いように「安全」を今年度事業の柱として、支援を展開して行きたいと以下のようを考えました。

①様々な状況により変化する日常生活でも、利用者の安全が保てるよう支援します。

②新しい事業でも利用者の安全を考えた活動とします。

③新しい建物でも安全を配慮した生活及び活動となるよう考えます。

④工事期間中及び計画停電時等は、利用者の安全と健康面を重視した生活を優先します。

⑤工事期間中、地域の方の安

全を配慮した対応を業者の方と共に図ります。

⑥工事業業者・監理者との調整を図り、事故の無いよう努めます。

グループホーム いずみ

「個別支援の充実」

国は地域福祉の充実に向け、自立支援法のグループホーム拡充に力を入れています。都事業である「いずみ」の今年度の事業計画は、自立支援法移行を視野に入れた事業を模索して行きます。

支援目標は、①個別目標に沿った自己管理能力の向上 ②就労意欲と体力維持 ③地域交流と余暇の充実をそれぞれ図って行きます。

法人本部

「事業と人材の基盤づくり」

法人本部は今年度の目標を、「事業と人材の基盤づくり」として次の課題に取り組み、地域の要望に応えられる態勢づくりに努めます。

①人材の定着と育成を図ります。 ②財務の安定に努めます。 ③仕事

基準書や職位の定義の見直しを行い、人事考課制度の再構築を行います。④給与制度の改善を図ります。⑤入・通所施設共通政策として、医療的ケアのガイドラインを策定します。⑥諸規程の改正や整備を図ります。⑦新たにこれまでの事業展開検討委員会を廃止し、行政の新制度策定内容を検討しながら「事業研究会」を立ち上げ、法人としてグループホームやケアホームの具体化を進めます。

今年も、物作りによる地域との一体化を目指し、地域の活力となるよう進めて参ります。



2011年度 事業計画

岡本ホーム

「利用者満足の上昇」

岡本福祉作業ホームは、「利用者が、自分らしく地域社会で過ごせるよう」に支援を行います。指定管理者の2期目は、この目標に沿って、事業を検証し、世田谷区の障害福祉サービスの向上を目指し、次の重点課題に取り組みます。

- ①「安心」「安全」を基本に、地域ネットワークに参加し、支援の幅を広げていきます。
- ②利用者の加齢に伴う重度化対応に努めます。
- ③正常な福祉経営を目指し、利用

玉堤分場

「働くための基盤づくり」

玉堤分場は、就労移行・就労継続B型の事業を通し、働くために必要な生活リズム、健康管理等の

率90%を目指します。

④「地域活力の担い手」となることを目指します。

⑤職員が将来展望を持って働けるよう、キャリアパスのイメージ化と育成体系の構築を目指します。

今年も、これまでの実績を活かし、利用者本位のサービス提供に努めますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

生活基盤づくりの支援を行います。

玉堤分場を利用するメリットを意識し、利用者満足の向上に努めます。また、多くの方々に施設を利用して頂けるような事業経営を行います。基本的には本園と一体的に次の課題に取り組めます。

- ①出張教室・工作教室等地域交流と社会参加支援を促進します。
- ②正常な福祉経営を目指し、利用率70%を目指します。
- ③専門職によるグループ支援を効果的に進めます。
- ④新製品の開発に努めます。
- ⑤三障害の受入環境を整え安心で安全なサービス提供を目指します。



これまでも「機関誌いずみ」を通じて建替えの内容をご報告してまいりましたが、今回は工事の進捗状況と、今後の工事計画につきましてご報告申し上げます。

昨年6月に東京都補助事業である「障害者施設等耐震化等施設整備事業」に申請し、7月には内示をいただきました。その後、建物の設計や設備設計及び備品等の確認作業を「利用者が安心・安全に過ごせる施設作り」をテーマとして、設計士や関係者と職員が何度も行いました。また、関係する法律や条例に対し、関係各機関のご指導を仰ぎながらようやく10月に建築確認を提出、受理され、今年に入り1月6日には工事現場説明会、28日には入札、その後東京都へ入札結果の報告をし、2月2日に理事会にて、業者選定の承認をし、業者との契約をしました。建設業者は「大成建設株式会社」、設



作業棟が解体され、この場所に新しい建物が建ちます

計監理は「株式会社新環境設計」となりました。

工事着工は2月3日、2012年1月20日の竣工を目指し工事を進めて行きます。

工事の進捗状況ですが、着工後まもなく、東京都の環境確保条例に抵触することが判明し工事を中断する事となりました。その内容は、土地3000㎡以上の敷地内で土地の造成に伴う建設をする場合、地歴等の調査・届出が必要との事で、明治時代から今迄の地歴とそれを証明する航空写真、地権者の証言などを調査し、無事承認を得られました。しか

し、2週間程工事が遅れ、それを取り戻すべく、地元自治会の常会で土曜日も工事作業日とすることをご理解いただき、工事を再開しました。また、東日本大震災の影響による停電、また、資材等の確保が難しく、仮設作業棟の建設が約1ヶ月遅れ、4月11日から使用できることとなりました。

なお、4月5日には法人と業者で工事の安全を祈願して「起工式」を行いました。

4月末現在の進捗状況は、敷地南側にありました作業棟を解体撤去し、そこに3階建の新本館と平屋の作業棟を建設しますが、現在新本館の掘削工事が完了し、基礎・躯体工事を行っています。同時に既存本館南側部分の多目的室の解体工事も同時に行っています。

今後の工事予定は、新本館作業棟の建築は、10月中旬完成、その後仮使用申請をし、11月末から12月初めに引越、12月初旬から既存本館と仮設作業棟の解体、同月中旬から外構工事、2012年1月初め完了検査をし、1月20日竣工の運びとなります。

なお、日程は未定ですが、内覧会を予定しています。皆様には是非いらしていただきたいと願っています。皆様のご支援で念願の建替えができます。誠に感謝です。事業計画にも示しましたように、地域の皆様も含め、関係者の「安全」を祈願して無事工事が進むよう、これからもご協力賜りますようお願い申し上げます。

（西田 徹）



仮設のプレハブ作業場



「成城音楽祭」

東京成城ロータリークラブ橋本会長の熱い想いがあり、3月4日（金）第2回目のチャリティーコンサートを開催しました。

橋本会長から、成城には著名な音楽家が多くいること、成城ホールが新しく創り替わったこと、東京成城ロータリークラブの活動拠点であることなどから、「将来的には3日間位掛けての音楽祭にしたい、今年もやるぞ!」とお話をいただきました。



会場は大盛況でした。

泉会としても、音楽活動を広く進めている所でもあり、世田谷で事業を進めている意義があり、この度もロータリークラブの皆様と一緒に実施出来たこと感謝いたします。

橋本会長のご尽力で、小林五月さん（ピアノ）、森下幸路さん（ヴァイオリン）、三宅 進さん（チェロ）の三重奏でシューマン、ブラームスの曲を演奏していただきました。3人の楽しいトークもあり、来場された約300名の方々は、繊細で力強い演奏に聴き入り魅了されました。

後援をいただいた世田谷区、東京新成城ロータリークラブの皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。また、会場の募金と合わせ、東京成城ロータリークラブより総額、202,650円をいずみ後援会友の会に寄付をしていただきました。



早川さん 花を活けて
いただいています

第三者評価結果報告

泉の家

全体の評価

【特に良いと思う点】

- 一、三障害の多様なニーズに応える多機能型事業所としての大転換
- 一、チームワークの良さを活かした利用者へのきめ細やかな支援
- 一、利用者を中心とした、積極的な地域交流

【更なる改善が望まれる点】

- 一、事業所サービスの「核」となるコンテンツづくりを中期的な視点で推し進めたい
- 一、中堅職員の育成で組織力の向上を
- 一、個々の職員の支援能力を活かしたマニュアル作りが期待される

「施設はあなたにとって良いところだと思えますか」67%の利用者が満足と回答した。一方、第三者委員などに相談できることを知っていますか」との質問では、利用者との接点を増やすことが必要と思われる結果となった。

日の出舎・就労日の出舎共通

【特に良いと思う点】

- 一、事業目標「新体系への円滑な移行と建替えの実現を目指します」の取り組み
- 一、西多摩材で創り出す木工製品やクラブ活動など利用者の日常生活に貢献のボランティア

一、月次実績報告書によつて的確な現状把握と実現すべき方向性の明確化

【更なる改善が望まれる点】

- 一、相談窓口や第三者委員等を設けているが利用者の意向把握の更なる工夫を
- 一、人事考課制度が職員の成果として反映されるような人事管理に期待

一、障害程度区分調査等で利用者の情報の共有化をしている反面、多量の情報の整理に苦慮している。いかに整理し支援に生かすかが課題。



泉の家だより

【新しい風】

今年度より新しい職員が2名入りました。この場を借りて紹介させていただきますと思います。

『今回新しく泉の家で働かせて頂くことになりました。大学では体育学部でメカニズムや健康作り、スポーツ科学について学んでいました。大学で学んだ身体の事や、母親が福祉作業所で働いている事を活かして仕事をしたいと思っています。しかし、福祉の仕事は初めての経験で分からない事が沢山あります。1日も早く仕事が出来ると前の人になるように全力で取り組んでいきます。宜しくお願い致します。』
（小林 淳史）



絶好のお花見日和です

『今年4月1日より泉の家にて勤務させて頂いております。施設職員として働き始めてから約1ヶ月経とうとしています。慣れない事はばかりで1日があっという間に過ぎ、日々様々な事に気付かされ学ぶ事ばかりです。前職は事務職員として主にデスクワークをしておりましてので全く違う職種になりますが、いつか挑戦してみたいと思いつけていた福祉の仕事に就くことに決め、先輩方のご指導を受けながら精一杯頑張らせて頂きたいと思っております。人と人との関わり合いを大切にしていきたいです。』

（小林山実）

泉の家には色々な職務経験がある職員が沢山います。それもまた施設の魅力になっていくのだと思います。

今回の新人職員も「利用者の方々」と接する事が好き」という事が伝わってくるような二人です。泉の家に吹く、新しい風に期待下さい。

（福田 公英）



玉堤分場だより

【玉堤室内フィットネス!!】

我が玉堤分場では2011年より金曜の午後に月1〜2回ほど室内フィットネスを始めました。

事の発端は、新年の目標にて利用者、職員を含め「マイナス〇〇kg減量」との事で室内フィットネスが出来ました。

フィットネスメニューは朝と夕の打ち合わせに行うストレッチの見直しとイスに座って家でも出来る筋力アップメニューを基本として行っています。

上半身・下半身を約20分に分けて行っており、一見地味に見えますが、歩く時に必要なスネとふくらはぎの筋力を鍛えるため、つま先上げと踵上げを重点的に行っています。

フィットネスを始め早3ヶ月程たち、やり始めた当初、利用者さんは、ぐったりすることが多く、「疲れた」「少し休憩しよ」などの声がありましたが、今では体力がついて余裕の笑顔が見え、お互いに「頑張れ!!」と声を掛ける場面が見られる様になりました。

後半はゲームを行い、多勢いる時は

2チームに分かれ背中に文字を書いて、どちらが早く正確に伝えられるかという感覚文字当てゲームをやり、少人数の場合はしりとりしながらトランプの神経衰弱を行ったりと体力・神経頭を使つて約2時間行っています。

（中村 有里）



みんなでマイナス〇〇kg!!

日の出舎だより

【通所ホームでの暮らし】

私が、通所ホームに入居をするきっかけになったのは今から数十年前。日の出舎内に自立が出来るように訓練施設として建てたのが通所ホームです。その通所ホームに入居を応募して自立に向けての訓練を始めました。

その当時は、訓練期間が決まっていたので今みたいに長くはいられません。そこで3年位して不動産屋にあきる野市に家を探してもらいました。

通所ホームに戻ります。

平成3年から平成10年までの7年間そこで一人暮らしをしていました。そしてその家を引越すことになり、通所ホームに戻ります。

りました。

通所ホームでの生活は、前に7年間一人暮らしをしていたので何も問題はありませんでした。初めの頃は近くの店に自転車に乗って買い物に行っていました。

そして職員の勧めで買い物ボランティアをしてくれるのでそれに参加してみたい?と言われ参加しました。今では買い物ボランティアはなくなり、毎週タクシーに乗ってあきる野市のショッピングセンターへ行きます。それと週1回配達をしてくれる生協を利用しています。

（海老原 昭男さん）



「玄関前で“ハイ、ポーズ!!”」

岡本ホームだより

【節電・節約!】

東日本大震災から3ヶ月が過ぎようとしています。未だ不便な生活を強いられている方が多く、被災された方々のことを思うと、我々ももっともっと頑張るのではないかと感じる今日この頃です。

泉会では支援物資の配送や募金活動で協力いたしました。岡本ホームとしては、この震災を機に節電・節約に取り組んでいます。

晴れた日には事務所の電気はつけません。作業場・廊下の電気は間引きしました。出来るだけ暖房も使わずに済むよう、みなさんに着衣を余分に着るようご協力いただきました。岡本ホームのひざかけも活躍しました。

また、紙類が不足とのことで、ペーパータオルの使用を止め、一人一人にハンカチの持参をお願いしました。床や机に何かこぼすと、すぐにペーパータオルやティッシュペーパーに手が伸びていましたが、台布巾や雑巾をすぐわかる場所に置くことで、意識して使うようになりました。

今までよりも薄暗い中での活動や、

ポケットからハンカチを取り出すひと手間（障がいがあると、これがなかなか大変です）にも不平を言う方は三人もいません。ハンカチや布巾、雑巾の使用に切り替えたことで思わぬ効果もありました。ゴミの量が半分減少したのです。

これから暑い暑い夏の到来です。日本中で電気の消費量が上がるでしょう。更に、何が出来るかを利用者、職員が一丸となつて考えていきたいと思っています。

（河村 律子）



マイハンカチで手を拭いています

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一一年五月十八日発行（SSK P通巻四七四六号）

シリーズ 自立 （泉の家）

泉の家を利用して約40年になる島宮ルミ子さんにお話を伺いました。

Q 現在はどうのような環境で生活していますか

A 「泉の家（入所）から、コーポ友愛に移って約10年になります。初めはこんなに長く生活するとは思っていませんでした。アパート暮らしを目標にしていますが、あつという間に10年経ってしまった感じです」

Q アパート暮らしという話がでしたが

A 「今、姉と一緒にアパートを探しています。世田谷区の『住まいサポートセンター』に相談に行き、自分に合った物件を紹介してもらっています」

Q 進み具合はどうですか

A 「数件紹介してもらいましたが、

色々な面で不便であったりします。今、住んでいる地域は気に入っているのので近くで探したいという希望はあります。

ただ、この辺りの家賃は安くはないですし、一般のアパートなので、設備的にも完全に希望に合った物件が見つかるとは思っていません。焦らず探して続けていきたいと思っています」

Q 一人暮らしを始めたなら、何かやってみたい事はありますか

A 「現在はいまよりやっていませんが、料理を少し始めたいと思っています。普段から、買い物に行つて雑貨や食べ物



仲間との作業はとっても楽しい時間です

を見るのが好きなので、食材や調理器具など少しずつ買えたらいいかなと思っています」

Q 最後に今後に向けて一言お願いします。

A 「引越しをした後も、泉の家での活動は続けていきたいと思っています。もともと細かい作業をするのが好きなので、泉の家での活動は自分に合っている気がします。新しい仲間も増え、賑やかな環境になりましたが、楽しみながら活動ができています」

ありがとうございました。

（小林 玲奈）

※世田谷区の「住まいサポートセンター」は、職員の方々が親切丁寧に相談に乗ってくれます。泉の家でも何人もお世話になります。自立生活に結びついています。



製品紹介 日の出舎

銘木どみの

銘木どみのは松・カリン・チーク・ワ・ローズウッド・ケヤキ等を使用した無垢材のドミノです。異なる種類の材を使用することで色彩が良く、木と木がぶつかった音も様々です。

60ピース	1500円
100ピース	2400円
150ピース	3500円
200ピース	4500円
（税込価格）	

送料は東京4500円
関東5000円
その他の地域に関してはお問い合わせ下さい。

就労日の出舎 加藤

042-597-1451

